

## 留学体験（現地）レポート

国際文化学科 21015027 加藤玲奈

私は9月3日から12月24日までの約4か月の間、韓国にある慶熙大学の国際教育院に留学をしてきました。今回の留学は語学力向上、自立心を身に着ける、人見知りの克服という目標で参加しようと思いました。日本にいるときは、もちろん自分が話す言葉も周りから聞こえてくる言葉もすべて日本語で、韓国語の授業か韓国の歌を聴くぐらいしか韓国語に触れられませんでした。しかし、留学すると話す言葉も周りの言葉もすべて韓国語です。最初は聞き取りや会話をするのが大変でしたが少しずつ慣れていきました。

学校は毎日9時から始まり、日本にいた時より規則正しい生活が出来ました。最初の3週間のクラスはほぼ日本人のクラスで受けましたが、クラスメイトと話すときは日本人同士なので日本語で話していました。ですが、3週間のクラスが終わり次のクラスになると13人中5人が日本人で他の8人が外国人でした。なので3週間の時よりクラスメイトと話すときは韓国語を使うようになりました。段々仲良くなりクラスの人たちと一緒にご飯を食べに行ったり観光地に行ったりするようになりました。



学校が休みの日は服を買いに行ったりおしゃれなカフェをネットで探して行ったりしました。服は日本よりも安いのでたくさん買ってしまいました。カフェではテイクアウトをしたり、ゆったりとした時間を過ごしました。

その他には、私はK-POPが好きなので野外の無料コンサートや有料コンサート、授賞式、音楽番組の観覧などにもたくさん行きました。日本より芸能人を近くで見れたのでとても楽しかったです。

韓国での食事は食べたものすべてが美味しかったです。食べていくにつれ、辛さにも慣れどんどん辛い物を欲するようになりました。食べ物はとても美味しかったのですが日本にいる時よりも野菜を摂れなかったような気がします。

母に日本食を送ってもらいましたが、そんなに日本食が恋しくなすことはなかったです。韓国での食事で困ることはあまりなかったので良かったです。

私が目標としていた語学力向上は学校の授業やクラスメイトの外国人、韓国人と話すことで上がったと思います。ですが、もっとしっかり勉強をすれば良かったと少し後悔があります。

次に自立心を身に着けるとい目標は、しっかり身についたと思います。私は実家暮らしで自立が出来ていませんでした。ですが、留学をして身の周りのことをしていく上で母の大変さが分かりました。

最後に人見知り克服という目標は、外国に住んでいるので分からないことが多く、学校はもちろん、買い物などで出かける際も人と話さなければならぬので自然と克服出来ました。それは日本に帰ってきてから実感しました。

この留学に参加して私はとてもいい体験が出来ました。今後、この経験を生かしていきたいです。